

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	工業科教育法 (A Method of Industrial Education)		
ナンバリングコード	K20202	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	4	配当学年 / 開講期	3年 / 通年
必修・選択区分	教職関係科目(必修):高等学校教諭一種免許状(工業) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K001901	クラス名	-
担当教員名	原田 敦史		
履修上の注意、履修条件	教科書2冊は、毎回持参してください。 課題は教育実習等で使用することがあるため、大切に保管してください。		
教科書	工業科教育法の研究 (実教出版), 高等学校学習指導要領解説 工業編 文部科学省		
参考文献及び指定図書			
関連科目	教職概論、職業指導、教育方法技術論		

○基本情報	
授業の目的	高等学校教員免許「工業」を取得するための科目になります。高等学校学習指導要領「工業」編に従い、「工業」科目の意義、指導内容、内容の取り扱い、教材選定、指導法を身に付けることを目的とします。
授業の概要	工業教育の内容や歴史などを解説した後、工業教育の学習指導要領、工業の指導法等を学び、模擬授業を実施します。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	原田敦史 工業高等専門学校に7年間勤務した経験を生かし、模擬授業における授業計画の立案や教授方法などの指導を行った。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	工業教育の本質・目的に関心が持てる	10点	10点	
【知識・理解】	工業教育の歴史や手法を理解できる	10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	工業教育の方法を習得できる。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	工業教育に関して、授業を行うことができる。		10点	30点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 <成績に関して> 「定期試験30%+レポート40%+模擬授業30%」で評価します。課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。 本講義において課題の提出がない場合は、その時点でE評価となる場合があります。締切を守って提出を行って下さい。

○その他
・講義内容に関する質問はオフィスアワーの時間を利用して相談すること。 ・授業の資料を掲載するホームページのアドレスを授業1回目に紹介するので活用すること。

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	工業科教育法 (A Method of Industrial Education) 原田 敦史	授業コード	K001901
<b>学修内容</b>				
<b>1. ガイダンス</b> 成績評価と前期試験の内容説明。後期の模擬講義説明後に工業教育の意義と役割を解説します。				
予習	シラバスを熟読すること			約2時間
復習	講義内容をまとめ、課題を行うこと			約2時間
<b>2. 工業教育の意義・役割・目標・内容</b> ・工業教育の意義と役割, 工業教育の目標, 工業教科の内容, 工業高校生の目指すべき人物像(テクノロジスト)について説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp9～p18まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ、課題を行うこと			約2時間
<b>3. 教育関係法令</b> ・工業教育に関わる教育法令に関して説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp24～p31まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ、課題を行うこと			約2時間
<b>4. 工業高校発展の歴史と現状【1】</b> ・日本の工業と工業教育の概観, 日本工業教育の歴史(昭和初期まで)について説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp32～p40まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ、課題を行うこと			約2時間
<b>5. 工業高校発展の歴史と現状【2】</b> ・日本工業教育の歴史(戦後の工業高等学校の発展・拡大), 工業高校への課題について説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp40～p47まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ、課題を行うこと			約2時間
<b>6. 工業科の科目と原則履修科目【1】</b> ・工業の科目, 工業技術基礎, 課題研究について説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp40～p47まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ、課題を行うこと			約2時間
<b>7. 工業科の科目と原則履修科目【2】</b> ・課題研究(実践型テーマの指導とノウハウの実例～)について説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp58～p72まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ、課題を行うこと			約2時間
<b>8. 前期中間確認試験</b> 1週目から7週目までの確認試験を行った後, 1週目から7週目の復習を行う。				
予習	1週目から7週目を復習する			約2時間
復習	試験の復習を行う。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	工業科教育法 (A Method of Industrial Education) 原田 敦史	授業コード	K001901
<b>学修内容</b>				
<b>9. 工業の各分野における基礎科目</b> ・工業の各分野の基礎科目, 実習, 製図, 工業情報数理について説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp73～p90まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ、課題を行うこと			約2時間
<b>10. 実践的工業教育</b> ・就業体験(インターンシップ), 資格取得に関して説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp91～p103まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ、課題を行うこと			約2時間
<b>11. 教育課程の編成から単元計画まで</b> ・教育課程の意義から教科書の選定までの説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp104～p119まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ、課題を行うこと			約2時間
<b>12. 授業の設計, 学習指導案, 授業改善及び教育実習</b> ・系統的学習における授業構造, 学習指導案, 授業の改善, 教育実習について説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp120～p133まで読んでおく			約2時間
復習	学習指導案の作成を行うこと			約2時間
<b>13. 学習指導案の作成【1】</b> ・学習指導案の作成を行い, 発表を行います。				
予習	学習指導案に関するプリントを配布するため, よく読んでおく			約、時間
復習	学習指導案の作成を行うこと			約2時間
<b>14. 学習指導案の作成【2】</b> ・発表会で指摘された学習指導案を修正した上で再度発表を行う。				
予習	学習指導案に関するプリントを配布するため, よく読んでおく			約2時間
復習	学習指導案の作成を行うこと			約2時間
<b>15. 教育評価</b> ・学習評価の意義, 新しい評価の3つの観点, 形成的評価・診断的評価・総括的評価, ルーブリック評価, 評価・評定の実際, 工業高校の教育と評価方法, 評価と評定について説明します。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp134～p144まで読んでおく			約2時間
復習	課題プリント			約2時間
<b>16. 前期期末試験</b> ・9週目から15週目までの定期試験を行う。				
予習	9週目から15週目を復習する			約2時間
復習	試験の復習を行う。			約2時間

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	工業科教育法 (A Method of Industrial Education) 原田 敦史	授業コード	K001901
<b>学修内容</b>				
<b>17. 学習と授業理論</b> ・教育論の歴史的展開, 授業の方法, 授業形態, 主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニングの視点)について説明します。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp145～p168まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ, 課題を行うこと			約2時間
<b>18. 模擬授業【ガイダンスおよび準備】</b> ・学習指導案と配点票を配布したうえで, 模擬授業を行います。他の受講者は生徒の立場となり批評します。				
予習	学習指導案の作成			約2時間
復習	模擬講義の反省を提出してください			約2時間
<b>19. 模擬授業【1】</b> ・1人20分の模擬授業を4人行います。教師役以外の学生は, 生徒役として評価を行います。				
予習	模擬授業に向けた学習指導案を作成する			約2時間
復習	模擬講義の反省箇所をまとめる			約2時間
<b>20. 模擬授業【2】</b> ・1人20分の模擬授業を4人行います。教師役以外の学生は, 生徒役として評価を行います。				
予習	模擬授業に向けた学習指導案を作成する			約2時間
復習	模擬講義の反省箇所をまとめる			約2時間
<b>21. 模擬授業【3】</b> ・1人20分の模擬授業を4人行います。教師役以外の学生は, 生徒役として評価を行います。				
予習	模擬授業に向けた学習指導案を作成する			約2時間
復習	模擬講義の反省箇所をまとめる			約2時間
<b>22. 模擬授業の統括</b> ・模擬授業の統括を行い, 改善点等を考えていきます。				
予習	学習指導案の作成			約2時間
復習	模擬講義の反省を提出してください			約2時間
<b>23. 教材と教具・情報機器の活用</b> ・教材と教具の活用, 教具の種類, 魅力ある自作教具, 情報機器とその活用について説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp219～p231まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ, 課題を行うこと			約2時間
<b>24. ICT教材を用いた講義資料の作成演習</b> ・ICT教材を用いた講義に向けて資料の作成方法などを勉強します。				
予習	配布資料を熟読する			約2時間
復習	ICT教材を用いた資料の作成を行う			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	工業科教育法 (A Method of Industrial Education) 原田 敦史	授業コード	K001901
<b>学修内容</b>				
<b>25. 遠隔講義に向けた教材資料の作成演習</b> ・遠隔講義に向けて資料の作成方法などを勉強します。				
予習	配布資料を熟読する			約2時間
復習	遠隔講義の資料の作成を行う			約2時間
<b>26. ICT教材を用いた模擬授業【1】</b> ・1人20分のICT教材を用いた模擬授業を行います。教師役以外の学生は, 生徒役として評価を行います。				
予習	模擬授業に向けた学習指導案を作成する			約2時間
復習	模擬講義の反省箇所をまとめる			約2時間
<b>27. ICT教材を用いた模擬授業【2】</b> ・1人20分のICT教材を用いた模擬授業を行います。教師役以外の学生は, 生徒役として評価を行います。				
予習	模擬授業に向けた学習指導案を作成する			約2時間
復習	模擬講義の反省箇所をまとめる			約2時間
<b>28. ICT教材を用いた模擬授業【3】</b> ・1人20分のICT教材を用いた模擬授業を行います。教師役以外の学生は, 生徒役として評価を行います。				
予習	模擬授業に向けた学習指導案を作成する			約2時間
復習	模擬講義の反省箇所をまとめる			約2時間
<b>29. 工業教育と進路指導</b> 工業教育における就職や進学指導など, 進路指導に関する説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp176～p191まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ, 課題を行うこと			約2時間
<b>30. 学校運営と教育向上への取り組み</b> ・学校運営, 地域と工業高校(工業高校の発展的活動), 学校の教育力向上・活性化を目指す取り組み, PTAと諸団体, 教員教育力向上を目指して, 教員に必要な対応力について説明します。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp192～p218まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ, 課題を行うこと			約2時間
<b>31. 今後の工業教育</b> ・工業高校の現状について, 新しい工業高校, 今後の工業教育について説明を行います。				
予習	指定教科書「工業科教育法の研究」のp219～p231まで読んでおく			約2時間
復習	講義内容をまとめ, 課題を行うこと			約2時間
<b>32. 後期期末試験</b> 模擬講義の反省会 これまでの反省をおこないます。				
予習	後期の講義内容を復習し, 期末試験に臨む			
復習	試験問題の復習を行う。			